



まごころバンド

大人っぼい

中高生デイでは、活動の中で「大人っぼさ」をときどき盛り込んでいます。例えば課題や主活動の中で英語やローマ字を使ってみたり、クッキングの際に料理酒を使ってみたり、細かい塗り分けが必要な「大人の塗り絵」に挑戦してみたり・・・



緊張した面持ちで料理酒を注ぐH君とAさん



ワイングラスを手にクリスマス会を楽しみました (※中身はブドウジュースです！)



「大人の塗り絵」の一例。季節ごとの作品を「ギャラリーまごころ」に展示しています

こうした取り組みが、活動に積極性や緊張感を生んだり、「自分もそろそろ大人に近づいているんだ」という自覚を持ってもらえたり、「子どもっぽくない」課題によって自尊心が持てたりするのではないかな・・・

「大人っぼい」活動に取り組む彼らの姿を見て感じています。

デイサービス通信

まごころバンド



暮れのクリスマス会に、水曜の利用者さんとスタッフで「まごころバンド」を結成し、リズム演奏を行いました。曲目は『三百六十五歩のマーチ』です。大太鼓と鈴とタンバリン、トライアングルのリズム楽器で1カ月間練習を積み重ねてきました。

当日は2名の利用者さんのお休みに、利用者7名、スタッフ4名が加わり大演奏。事務局員やヘルパーさん数名が見守る中で、皆さん緊張するも堂々と演奏されました。

アンコール曲にも応じて、皆即興で楽器を打ち鳴らしてくださいました。その後、皆でコーラスや「はないちもんめ」の遊びをしたりして、童心に返って楽しいひと時を過ごすことができました。

今年もまた、皆元気で楽しいデイサービスを送りたいと思います。



暮れのデイサービスで餅つきをしました

心っれづれ



『母とともに』

先日祖父江のいちょう祭りに行き、母が元気だった頃と同じように二人で歩き、お茶とお饅頭を食べて帰ってきました。

身体は衰え、できないことは多くなってはきておりますが、豊富な経験や知恵は衰えることはなく、母は銀杏の効能などの話をしてくれました。いちょう並木の美しさは暖かくてとても優しい輝きです。それは今の母(80歳)と同じだなあと感じました。

母が認知症だとわかってもう3年になります。しっかり者の母で、一人暮らしをしていましたが、少しずつ徘徊などの症状があらわれ、とうとう対応に疲れ果ててグループホームにいれました。

今は時々会いに行き自宅に連れて来たり、散歩を一緒にしています。母と過ごす“ひととき”は実にのんびりとゆったりとした時間で、自然に「待つ」と「受け入れる」ことができるようになりました。仕事に追われ成果や結果を問われる毎日の中では決して味わうことのできない豊かさがあり、何気ない発見と喜びにあふれています。

母は野菜やお花を育てていたので季節の野菜やお花の名前がすらすら。一緒にいるおかげで私も少しずつわかるようになりました。

『お母さん見て、庭の水仙がもう咲いてるよ!』母は『うん』とにっこり笑顔です。

竹市由美子



ヘルパーだより

NO.20

訪問するケアで一番困っていることは、ヘルパーの駐車スペースがなくて、やむなく路上駐車をしているケースが多々あります。

警察には、訪問するケア先を登録して「駐車許可書」を頂いてはいますが、日本の道路の多くは広さが十分ではなく、駐車可能な場所を探すことは困難な場合も多いのです。「駐車許可書」を掲示しても、駐車違反を貼られたケースもあります。

車を運転されない利用者宅でも、ヘルパーのために駐車場を借りてくださる方もあります。新しいケア依頼があっても、駐車困難と思われる場所、特に街中では駐車取り締まりが厳しく、ケアをお断りするケースもあります。

Aさん障害者夫妻は最近アパートの2階へ引っ越しされました。ヘルパーが買い物の依頼で出かけ、その荷物が多くてかさばる時には、買い物で帰宅する直前に電話を入れ、アパートの階下へ降りてもらい、荷物を受け取ってもらったりしていました。ほどなくアパートの大家さんから、契約駐車場以外のスペースに、少しのケア時間なら停めても良いと許可を頂きました。

訪問のケアで、近隣や地域が少しでも駐車スペースについて、理解と協力が得られたらと思います。

◇無余地場所は駐車違反!!



道路に車両を駐車した場合、右側に3.5m以上の余地がなくなると、駐車違反になります。路側帯(白色の実線及び破線)からも3.5m以上が必要。